

次世代につなぐ「輪島のまちづくりビジョン」

2021年2月

輪 島 市 経 済 団 体 協 議 会

次世代につなぐ「輪島のまちづくりビジョン」策定委員会

目 次

1. 30年後に目指す輪島の姿-----	1
2. 目指す姿を実現するためのロードマップ-----	2
世界屈指の美食の温泉郷-----	2
能登世界農業遺産大学を核とする学びと定住のまち-----	3
陸・海・空のインフラにより様々な場所とつながり産業を創出-----	4
3. 実現したいまちづくりプロジェクト-----	5
プロジェクト 1 世界屈指の美食の温泉郷づくり-----	5
プロジェクト 2 輪島固有の観光コンテンツの活用-----	6
プロジェクト 3 ナリワイの持続性強化-----	6
プロジェクト 4 能登世界農業遺産大学の創設-----	7
プロジェクト 5 コンパクトシティプラスネットワークによる高齢者の住みやすさ向上-----	8
プロジェクト 6 新しい生活様式に対応する働き方のスタイル提案-----	8
プロジェクト 7 能越自動車道・輪島道路の整備をふまえた周遊性を高める道路整備-----	9
プロジェクト 8 観光、レジャー、食等の機能強化とグリーン成長の拠点形成-----	10
プロジェクト 9 インバウンドを視野に入れ東京・関西を繋ぐ-----	11

1. 30年後に目指す輪島の姿

輪島市は、「輪島塗のまち」としてブランドイメージが定着している。また、年間 60 万人超の観光客を迎える「朝市」は観光誘客の要である。平成 23 年には「能登の里山里海」が世界農業遺産に認定され一次産業の文化も世界的な評価を受けている。

一方、能登半島は人口減少、少子高齢化が国内で最も早いペースで進む地域であり、持続可能な人口構造の維持、過疎の進行に対応した地域づくり、産業の活性化が課題である。

そこで輪島市の経済団体が中心となり、次世代につなぐ「輪島のまちづくりビジョン」の検討を行った結果、3つの「目指す姿」が描き出された。本ビジョンを基に、市民・企業・行政の協働によるまちづくりを進めたい。

目指す姿1

世界屈指の美食の温泉郷

- 食を楽しむ市民が、町中にあふれ、そこに観光客が加わり、輪島・能登の美味しい食を食べつくることができる温泉郷。
- “美食の温泉郷”づくりと固有の観光コンテンツの活用により交流人口が増え、農業・漁業が潤うとともに、輪島塗や朝市にも波及する。暮らしそのものの質が高く、輪島固有のナリワイを核に産業全体が活性化するまち。

プロジェクト

- 1 世界屈指の美食の温泉郷づくり
- 2 輪島固有の観光コンテンツの活用
- 3 ナリワイの持続性強化



目指す姿2

能登世界農業遺産大学を核とする学びと定住のまち

- 輪島に「能登世界農業遺産大学」を創設する。能登の高校生や全国の若者が農林水産業を学び、能登で就職できるプラットフォームを目指す。
- 豊かな自然、田園風景、歴史的町並み、人々のつながりを活かし、コンパクトシティプラスネットワークを推進する。加えて、新しい生活様式に対応する働き方を進め、定住課題を克服する。

プロジェクト

- 4 能登世界農業遺産大学の創設
- 5 コンパクトシティプラスネットワークによる高齢者の住みやすさ向上
- 6 新しい生活様式に対応する働き方のスタイル提案



目指す姿3

陸・海・空のインフラにより様々な場所とつながり産業を創出

- 陸 = 高速道路（能越自動車道）、海 = 港湾（輪島マリンタウン）、空 = 空港（のと里山空港）の交通インフラをフルセットで備えたまちは、人口 3 万人規模では全国的に珍しい。
- 陸海空のインフラを活用し、様々な場所とつながるまちを目指すことにより観光振興、地域産業の活性化、災害に強いまちを目指す。
- また、脱炭素社会に向けグリーン成長の拠点を形成する。

プロジェクト

- 7 陸 能越自動車道・輪島道路の整備をふまえた周遊性を高める道路整備
- 8 海 観光、レジャー、食等の機能強化とグリーン成長の拠点形成
- 9 空 インバウンドを視野に入れ東京・関西を繋ぐ



2. 目指す姿を実現するためのロードマップ

世界屈指の美食の温泉郷

プロジェクト1 世界屈指の美食の温泉郷づくり

●地産地消の推進・ 食のブランド強化

- ・地域のものを使って、食文化を大切に、美味しい料理を提供している温泉宿や店を認定する制度の研究、試験的な導入
- ・農林漁業連携による販売拠点整備および流通活性化



●“美食の温泉郷”の推進

- ・食を楽しむ市民がまちにあふれ、観光客も加わり、輪島・能登の美味しいものを食べつくすことができる温泉郷
- ・本町、観音町、海岸沿い等では、オープンテラスにより食が楽しめるまちづくりを推進
- ・「美食の温泉郷・輪島」認定店の拡大、情報発信の強化



プロジェクト2 輪島固有の観光コンテンツの活用

●鴨ヶ浦塩水プールの活用

- ・漁協とタイアップし余った魚を入れてもらうことにより、夏は魚と泳げる水族館として話題性を高める。



●輪島固有の観光コンテンツの充実

- ・本物の祭りでキリコを担ぐ体験、漆職人による工房見学ツアー、男女滝（なめたき）沢登りツアー等、固有のコンテンツの充実



●事業承継の円滑化

- ・個性的な企業・商店の事業承継に関し、商工会議所が支援を強化し、事業承継の円滑化を図る。

プロジェクト3 ナリワイの持続性強化

●企業価値の向上

- ・観光産業とのタイアップ、異業種連携等による企業価値の向上
- ・食のブランド向上による農業・漁業のブランド向上、県内流通の拡大
- ・輪島塗の職人技術の継承

短期的な目標

- 輪島の旅館、飲食店における地産地消、食のブランド化の取組をスタートする。
- 輪島観光の魅力の発見・創造により、話題性のある観光コンテンツを創出する。
- 個性的な企業・商店の事業承継の円滑化を進める。

中期的な目標

- “美食の温泉郷”として、市民・観光客が輪島・能登の食を楽しむまちづくりを推進する。
- 伝統文化、祭り、秘境等の活用による、輪島固有の観光コンテンツの充実を図る。
- 観光等とのタイアップによる企業価値の向上を図る。

長期的な目標

- “美食の温泉郷”として、国内外の観光客に対するブランドが確立する。
- 食、工芸、朝市の魅力によりリピーターが定着。
- インバウンド（海外の観光客）の定着による観光交流の活性化。

目指す姿

- 食を楽しむ市民が、町中にあふれ、そこに観光客が加わり、輪島・能登の美味しい食を食べつくすことができる温泉郷。
- “美食の温泉郷”づくりと固有の観光コンテンツの活用により交流人口が増え、農業・漁業が潤うとともに、輪島塗や朝市にも波及する。暮らしそのものの質が高く、輪島固有のナリワイを核に産業全体が活性化するまち。

関連するSDGsのゴール



能登世界農業遺産大学を核とする学びと定住のまち

●能登里山農業実験フィールドの開設

- ・輪島において農の研究拠点「能登里山農業実験フィールド」を開設する。
- ・「能登学舎」、「能登海洋水産センター」とのネットワークを強化する。



●高齢者の足の確保

- ・まちなかはWA-MOにより高齢者の移手段を確保。
- ・集落部は路線バス+新しいモビリティで中心部までの足を確保する。



●サテライトオフィスの充実

- ・W I T Hコロナ時代において、地方に定住し現在の仕事を続けたい人等の移住促進を図るため、通信環境がよく異業種交流も可能なサテライトオフィスの充実を図る。

短期的

- 輪島において農の研究拠点「能登里山農業実験フィールド」を開設する。
- まちなかはWA-MO、集落部は新しいモビリティを活用し、高齢者の足を確保する。
- サテライトオフィスの充実により移住を推進する。

プロジェクト4 能登世界農業遺産大学の創設

●能登世界農業遺産大学キャンパスの創設

- ・能登世界農業遺産大学のキャンパスを創設する。
- ・世界農業遺産の風土を活かし、農林水産業の基礎、応用研究、生産技術、ICT 技術の応用、事業化（ビジネス）までを一貫して学ぶことができる大学を目指す。
- ・能登の生産者とネットワークし、卒業後は能登で就職率 100%を目指す。



●空き家等の活用によるコンパクトシティプラスネットワークの推進

- ・医療、福祉、生活機能等が集積している中心部の空き家等を活用し、集落に居住する高齢者の住み替えを促進する等、居住誘導を進める。
- ・中心市街地に住み替えた高齢者がコミュニティに入れるよう、各地区で新旧の住民が親交を深める場を運営する。



プロジェクト5 コンパクトシティプラスネットワークによる高齢者の住みやすさ向上

プロジェクト6 新しい生活様式に対応する働き方のスタイル提案

●5G環境の整備(情報インフラ)

- ・リモートワーク、ビデオ会議、AI、IoT の活用による技術革新、新ビジネスの創出等の実現を支える情報インフラ（5G）環境を整備する。

中期的な目標

- 大学と地域社会の連携により、能登世界農業遺産大学の開設を推進する。
- 空き家等を活用しコンパクトシティプラスネットワークの推進を図る。
- 5G環境の整備により、新しい働き方を促進する。

●移住創業の推進

- ・輪島の地域課題の解決において創業意欲をもって移住する人に対しオフィスや住宅の提供、伴走支援の強化を行い、移住創業を推進する。

長期的な目標

- 能登世界農業遺産大学により、能登で学ぶ若者、能登で就職できる若者を増やす。
- コンパクトシティプラスネットワークとして、子どもから高齢者まで暮らしやすいまち。
- 輪島のまちづくり課題に取り組む移住創業者を増やす。

目指す姿

- 輪島に「能登世界農業遺産大学」を創設する。能登の高校生や全国の若者が農林水産業を学び、能登で就職できるプラットフォームを目指す。
- 豊かな自然、田園風景、歴史的町並み、人々のつながりを活かし、コンパクトシティプラスネットワークを推進する。加えて、新しい生活様式に対応する働き方を進め、定住課題を克服する。

関連するSDGsのゴール



陸・海・空のインフラにより様々な場所とつながり産業を創出

プロジェクト7
陸 能越自動車道・輪島道路の整備をふまえた周遊性を高める道路整備

●**輪島バイパスの整備(陸)**
・物流・産業等の通過交通を中心部から排除するとともに、観光客の千枚田方面、門前方面へのアクセスを強化。



●**輪島広域農道(三井～市ノ瀬)の整備促進(陸)**
・農業振興及び災害時の能越自動車道代替ルートとして、輪島中心部とのと里山空港をつなぐ輪島広域農道(未整備区間：三井～市ノ瀬)の整備を進める。

●**能越自動車道、のと里山海道の整備促進(陸)**
・4車線化工事、道路機能の向上等の働きかけを進める。

●**まちなかの観光交流軸の整備(陸)**
・輪島 IC→都市ルネッサンス区間→朝市→マリンタウンに至る連続性の確立。



●**サイクリングルートの整備(陸)**
・能登半島において観光サイクリングのニーズが高いため、風景のよいルートの自転車走行環境の向上を図る。

●**バイエリアの魅力向上(海)**
・バイエリア(現在の作業ヤード)に、へぐら航路の発着拠点、漁業と連携した食の拠点等を整備し観光拠点化を推進する。



●**クルーズ船の環境整備(海)**
・大型クルーズ船の停泊、快適な乗下船のための環境整備を進める。



プロジェクト8
海 観光、レジャー、食等の機能強化とグリーン成長の拠点形成

●**第2マリンタウンの整備検討(海)**
・バイエリアの魅力向上が必要であり、作業ヤードの移設先として第2マリンタウンの整備を検討する。
・第2マリンタウンでは、グリーン成長戦略として位置づけられている洋上風力発電や水素エネルギーの基地港湾を目指す。

●**洋上風力発電の基地港湾(海)**
・輪島沖を洋上風力発電の開発地域に位置づけ、国の指定を目指す。第2マリンタウンに洋上風力発電の組立工場の立地を促進し、成長産業の拠点化を目指す。



●**防災拠点空港の整備促進(空)**
・用地確保の面から拡張性が高い条件を活かし、防災拠点空港としての整備可能性を探る。

●**関西方面の定期便の実現化(空)**
・ジェイ・キャスによるのと里山空港⇄関西国際空港の定期便化に関し、市民が一体となり後押しする。

●**国際チャーター便の誘致促進(空)**
・海外旅行者のローカル to ローカル移動(大都市を經由しない旅程)が増えると考えられており、国際チャーター便の誘致を促進する。

プロジェクト9
空 インバウンドを視野に入れ 東京・関西を繋ぐ

●**空港の個人利用の促進(空)**
・飛行機やヘリコプターの個人所有化に対応するサービスを検討する等、多機能化を促進する。

目指す姿

- 陸＝高速道路(能越自動車道)、海＝港湾(輪島マリンタウン)、空＝空港(のと里山空港)の交通インフラをフルセットで備えたまちは、人口3万人規模では全国的に珍しく、このインフラを最大限に活用することが課題解決につながる。
- 陸海空のインフラを活用し、様々な場所とつながるまちを目指すことにより観光振興、地域産業の活性化、災害に強いまちを目指す。
- 第2マリンタウンをグリーン成長戦略の拠点と位置づけ、輪島沖における洋上風力発電の開発や水素エネルギーのモビリティへの活用等を目指す。

関連するSDGsのゴール



短期的な目標

- 能越自動車道・輪島道路三井 IC が 2022 年夏まで開通予定に合わせ、中心部の周遊性を高める道路整備を進める。
- 海の玄関口の魅力向上とグリーン成長の拠点形成のため、第2マリンタウンの検討を進める。
- 関西方面の空の定期便の実現化を推進する。

中期的な目標

- 能越自動車道・輪島道路輪島 IC が 2030 年前後に開通予定であり、観光、産業の道路ネットワーク強化を進める。
- 第2マリンタウンの整備を進め、バイエリア(現在の作業ヤード)の観光拠点化及び洋上風力発電の基地港湾等を目指す。
- 空港の多様な活用方法を推進する。

長期的な目標

- 道路整備による広域ネットワーク強化、災害に強い道路ネットワークの構築を図る。
- 第2マリンタウンの活用、バイエリア(現在の作業ヤード)の活性化、洋上風力発電等の産業化。
- 個人利用や防災拠点空港としての活用を推進する。

3. 実現したいまちづくりプロジェクト

世界屈指の美食の温泉郷

プロジェクト1 世界屈指の美食の温泉郷づくり

STEP1 地産地消の推進・食のブランド強化

- 能登半島は世界農業遺産に認定されており、多くの旅人は食を楽しむことが能登を訪れる目的の一つになっている。輪島の食は質が高いが、世界屈指の美食の温泉郷を目指すためには、地産地消を推進し、輪島でしか楽しむことができない食であることを伝えていく努力が必要になる。
- 「雪国A級グルメの認定」等と連携し、地域の食材を使い、食文化を大切にしている温泉宿や飲食店を認定する制度を研究し、試験的な導入を試みる。
- 農林漁業の連携による販売拠点整備や、流通活性化により地産地消及び高付加価値化を推進。

「美食の温泉郷・輪島」認定店の条件（例）

1. 能登の気候風土が活かした美味しい食を自らの宿や店で作っていること
2. 原材料のすべての情報を公開できること
3. 能登の食材を積極的に使用していること
4. 消費者の「安全」と「美味しさ」を第一に考え、原産地や添加物にまで気を配っていること
5. 「美食の温泉郷・輪島」認定の一次産品、加工品を積極的に使用していること

事例：雪国観光圏「雪国A級グルメ」の認定（旅館・ホテル 11、飲食店 18、土産・加工食品 10）

旅館・ホテル

その雪国の「食」の魅力を「永久に守り受け継いでいきたい」という想いから地元の有志によって雪国A級グルメ事業が始まりました



温もりの宿 辰巳館



松泉閣花月



里山十帖



温泉御宿 龍言

飲食店

その雪国の「食」の魅力を「永久に守り受け継いでいきたい」という想いから地元の有志によって雪国A級グルメ事業が始まりました



ピッツェリア 薪と石
新潟・南魚沼市石打



Sumaka living (スミカリビング)



かま炊きめしや こめ太郎
新潟・南魚沼市石打



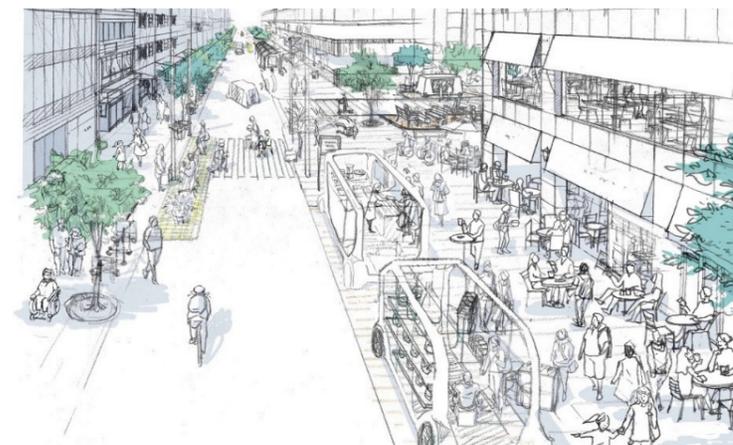
Pizza&Pasta Taverna gozzo (タベルナゴッツ)

STEP2 “美食の温泉郷”の推進

- 目指すイメージは「食を楽しむ市民がまちにあふれ、そこに観光客も加わり、輪島・能登の美味しいものを食べつくることができる温泉郷」。「美食の温泉郷・輪島」認定店制度を活用し、食文化を発信できる宿・飲食店を増やし、美食の温泉郷としてのブランド力・発信力を高める。
- 本町、観音町、海岸沿い等、輪島らしいロケーションを活かし、オープンテラス等で食が楽しめるまちづくりを推進し、日常的に市民が集い食を楽しみ、観光客と交流する空間づくりを進める。
- 国（国土交通省）においても、「歩行者利便増進道路指定制度」の創設が進められており、道路空間においてテラス付きの飲食店などの占有が可能になる法改正が進んでいることを活用し、新しい制度を積極的に活用したまちづくりを進める。



世界的な美食のまちサン・セバスティアンの風景 元々食材に恵まれたまちだったが、地域ぐるみでレシピの共有、料理の研究を進め食の都としてブランドが定着。食の魅力で多くの観光客が訪れる。



歩行者利便増進道路のイメージ
歩道等の中に「歩行者の利便増進を図る空間」を定めることができる。
特例区域を設け、民間の創意工夫を活用した占有が可能になる（最長20年の占有等）

STEP1 魚と泳げる水族館＝鴨ヶ浦塩水プール

- 長期的には、能登・輪島に固有な観光コンテンツを持続的に活用していくことが重要であるが、短期的には話題性を高め輪島の認知度向上を目指す。
- 鴨ヶ浦の塩水プールを活かし、「魚と泳げる水族館」整備を進める。漁で余った魚を放流し、魚と一緒に泳ぐことができる。
- 水中で撮影した写真が自分のスマホに届くサービスを組み合わせ、SNS 利用者への人気を高めるとともに、口コミでの認知度向上にもつなげる。



鴨ヶ浦塩水プール



イメージ：グアムの泳げる水族館

STEP2 輪島固有の観光コンテンツの充実

- 祭りや漆文化を中心とする能登・輪島固有の観光コンテンツを掘り下げ、高い品質で来訪者に提供する取組を進める。
- 次のようなコンテンツの充実が想定される。
 - 祭り キリコをつくることから参加し担ぎ手となる
 - 輪島塗 輪島塗の職人がガイドをし、実際の工房を巡り、職人と会話ができる
 - 海女漁 舳倉島で海女漁を体験し、海女さんが食べているご飯と一緒にいただく
 - 自然 インストラクターと男女滝（なめたき）を沢登りする
 - 食談義 輪島塗の職人や漁師とともに夕食を囲み食談義をする



工房巡りのイメージ



志摩市 海女小屋での食体験

STEP1 事業承継の円滑化

- 輪島には個性的な企業・商店が多く存在するが、後継者不足による廃業等もあり、円滑な事業承継の強化が求められている。
- 事業承継の円滑化のためには、早期・計画的な準備が不可欠であり、輪島商工会議所が県と連携し、事業承継診断を通じた啓発や支援を実施している。
- 現在の事業承継を強化するとともに、事業を引き継ぐ際に業態転換や新事業へ進出する「第二創業」を支援し、企業の活性化を促す。

STEP2 企業価値の向上

- 観光産業とのタイアップや異業種連携により市内企業・事業所の価値向上を図る。
- 次のような企業価値の向上が想定される。

■ 観光×工芸

産業観光の一環として「工芸観光」を富裕層向けに企画、実施することにより、世界に誇るブランド輪島塗の本質を理解いただき、高付加価値の商品購入や顧客創出につなげる。

■ 美食の温泉郷×農業・漁業

輪島で美味しい食を楽しんでもらい、そのお店で使っている食材（里山・里海の幸）を通販で買えることにより、食のブランドを活かした農業・漁業の付加価値向上を図る。

■ 美食の温泉郷×工芸

飲食店や宿の食の提供において、輪島塗の器を積極的に使用することや、テーブル・カウンター、内装等にも漆を用い、輪島でしか味わえない食を演出する。輪島塗の購入（お店、観光客）にもつながる。



金沢市 お茶席で作家の工芸を使いコミュニケーションするツアー



大型漁船団が活魚状態で水揚げ港へ搬送し、一尾ずつ活めた魚



漆器を用いたテーブルコーディネート

プロジェクト4 能登世界農業遺産大学の創設

STEP1 能登里山農業実験フィールドの開設

- 奥能登地域には、豊かな自然環境と特徴的な社会環境を活かし、能登町に金沢大学理工学域「能登海洋水産センター」が、珠洲市に地域連携の拠点である金沢大学「能登学舎」がある。また、金沢大学、石川県立大学、石川県看護大学、金沢星稜大学、輪島市、珠洲市、穴水町、能登町、石川県が「能登キャンパス構想推進協議会」を形成しており、様々な取組を推進している。
- 輪島市においては農の研究拠点「能登里山農業実験フィールド（仮称）」を石川県立大学と連携し開設することからスタートする。輪島市内の耕地や空き施設を活用し、市内の農業者と連携した実験農場を整備、ICTを活用したスマート農業の実験や、能登の固有種の研究、世界農業遺産の関連研究等、能登をフィールドとする教育・研究活動を進める。
- また、奥能登の研究拠点のネットワークを強化し、能登世界農業遺産大学の創設に向けた検討を開始する。

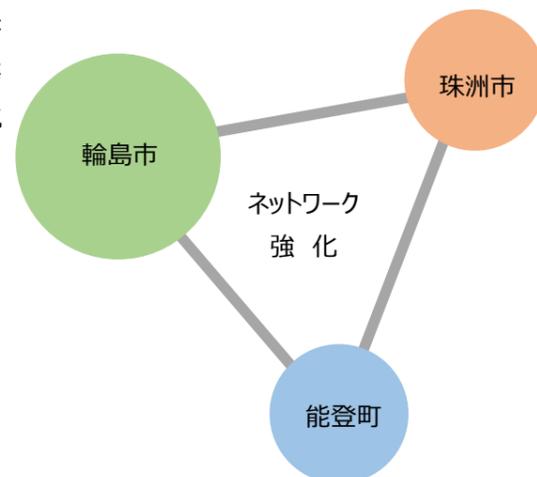
STEP2 能登世界農業遺産大学の実現化

- 能登世界農業遺産大学キャンパスの創設
能登里山農業実験フィールド、能登海洋水産センター、能登学舎のネットワークを強化し、その核となる「能登世界農業遺産大学」のキャンパスを創設する。
能登世界農業遺産大学では、農林水産漁業の基礎・応用研究、実際の生産技術に加え、ICT技術の応用、ビジネス経営・創業等を学び、農林水産業の新たな発展を担う人財を育てる。
- 奥能登の農林水産業と連携した実習、研究、就職
能登世界農業遺産大学では、能登の農林水産業を営む生産者と連携し、奥能登全体が実習や研究のフィールドワークとして機能する。
また、能登の農林水産業全体で、能登世界農業遺産大学卒業生の就職及び起業を受け入れることにより、就職が安心できる大学を目指すとともに、奥能登の定住人口増加につなげる。

■能登里山農業実験フィールドの創設

(石川県立大)

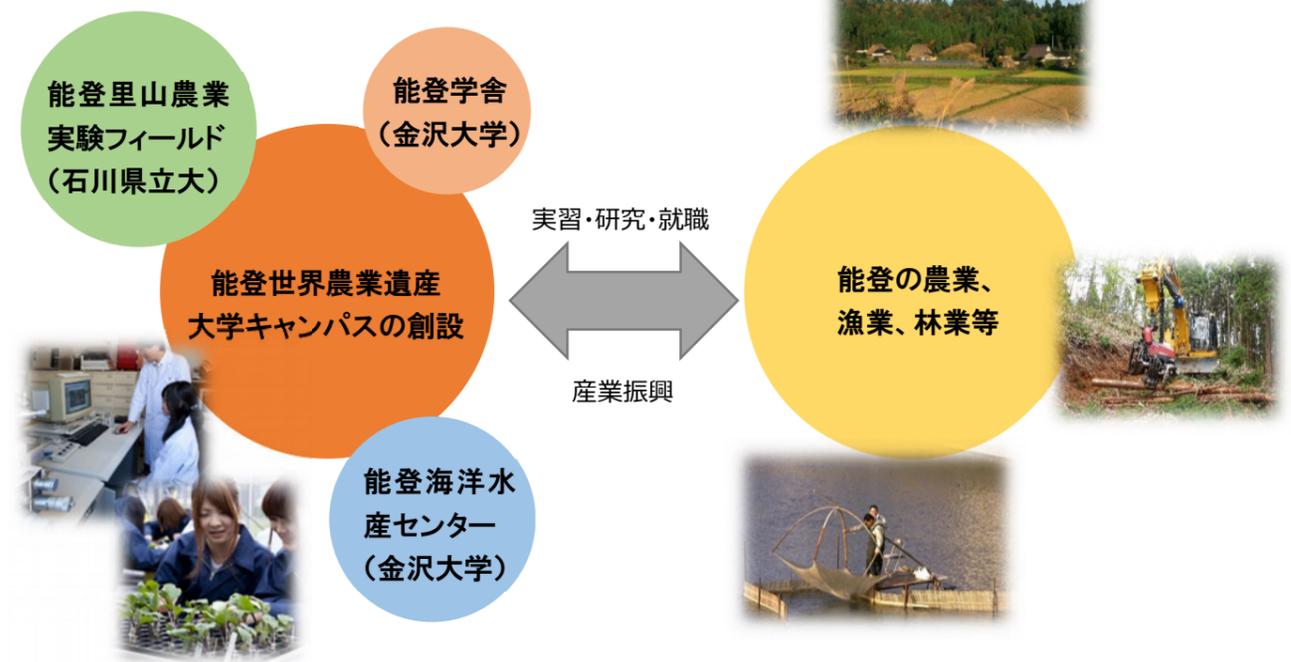
輪島市内の耕地や空き施設を活用し、実験農場を整備
スマート農業、能登の固有種の研究、世界農業遺産の関連研究等を実施、ドローン活用では日本航空学園との連携を図る



金沢大学「能登学舎」
能登の里山里海の基礎研究、都市－農村研究、地域振興のためのリーダー育成（里山里海マイスター）等を実施
※旧小泊小学校



金沢大学理工学域「能登海洋水産センター」
能登の里海を研究フィールドに、海洋生物資源コースに関連した研究を実施



STEP1 高齢者の足の確保

- コンパクトシティプラスネットワークのまちづくりには、中心部の通院、買い物等を支える足の確保、集落と中心部を結ぶ交通の確保が重要。
- 中心部はW A – M Oの充実を図り、より移動が快適なまちなかを目指す。
- 集落と中心部を結ぶ足は、路線バスネットワークを維持しながら、A I オンデマンドタクシー等の導入や住民ボランティアによる共助により、中心部まで快適に移動できる交通ネットワークをつくる。



A I オンデマンドタクシーの例
のるーと（福岡市）
スマートフォン等からの予約を受けA I が最適な路線を導き運行する乗合交通

STEP2 空き家等の活用によるコンパクトシティプラスネットワークの推進

- 現在集落に居住している高齢者は、田畑や山林とともに暮らす生活スタイルもあり、集落において暮らし続けることが望ましいが、ライフステージに応じて、医療・福祉・生活機能等が集積している中心市街地への住み替えも進むことが予想される。
- 中心部の「空き家」や集合住宅の「空き室」を積極的に活用し、高齢者の住み替えを促進することにより、空き家の課題解決にもつながる。
- 住み替えた高齢者が人間関係をつくりコミュニティで快適に暮らせるよう、新旧の住民が親交を深める工夫が必要である。そこで、各地の公民館・集会場等を活用し、日常的に住民が集まれる空間づくりを進めるとともに、健康や文化プログラムを開催することにより、生活の質、幸福度の高いライフスタイルの創出を目指す。



市内集会場 百歳体操の様子



富山市 元気づくりプロジェクトとしてシニアの部活動を定期開催、人間関係を豊かにし、幸福度を高めることが目的

STEP1 サテライトオフィスの充実・5G環境の整備

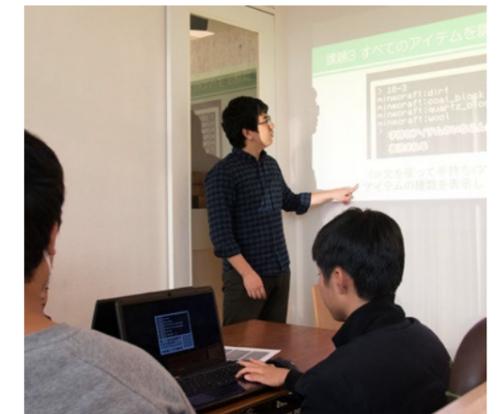
- W I T Hコロナ時代において、地方に移住・定住し現在の仕事を続けたいと考えている人が増えている。このタイミングを生かすため快適にテレワークができる環境が整ったシェアオフィスや、ビジネス交流の場でもあるコワーキングスペースを整備し、二地域居住や移住希望者に提供する。また企業の本社機能の移転誘致を進める。
- 第5世代移動通信システム（5G）を整備し、超高速、超低遅延、多数同時接続の通信環境を実現する。それにより、農林漁業や各産業におけるAIやIoTの活用、自動車や産業機器の自動運転化、リモートワーク、ビデオ会議が快適にできるサテライトオフィスの実現等を進め、新しい生活様式に対応する働き方を推進する。



Sketch Lab（富山市）
会員制の交流・共創スペース。テレワーク、ミーティングができ、交流イベント等でビジネスが活性化される。

STEP2 移住創業の推進

- 輪島における地域課題、「若い人の雇用」、「高齢者の移動」、「子育て環境の充実」や、まちづくり課題「美食の温泉郷づくり」、「大学の創設」、「陸・海・空のインフラ整備」などに取り組む移住創業者に対し、起業・移住支援金（国・県・市）等に加え、空き家取得の上乗せ補助（市）、伴走型創業支援（商工会議所）等、様々な支援を行う専門の窓口を設置し、課題解決型移住創業者の増加を図る。
- 移住創業者の仕事と、地域課題解決が結びつくことにより、雇用環境の創造とまちづくりを同時に進める。



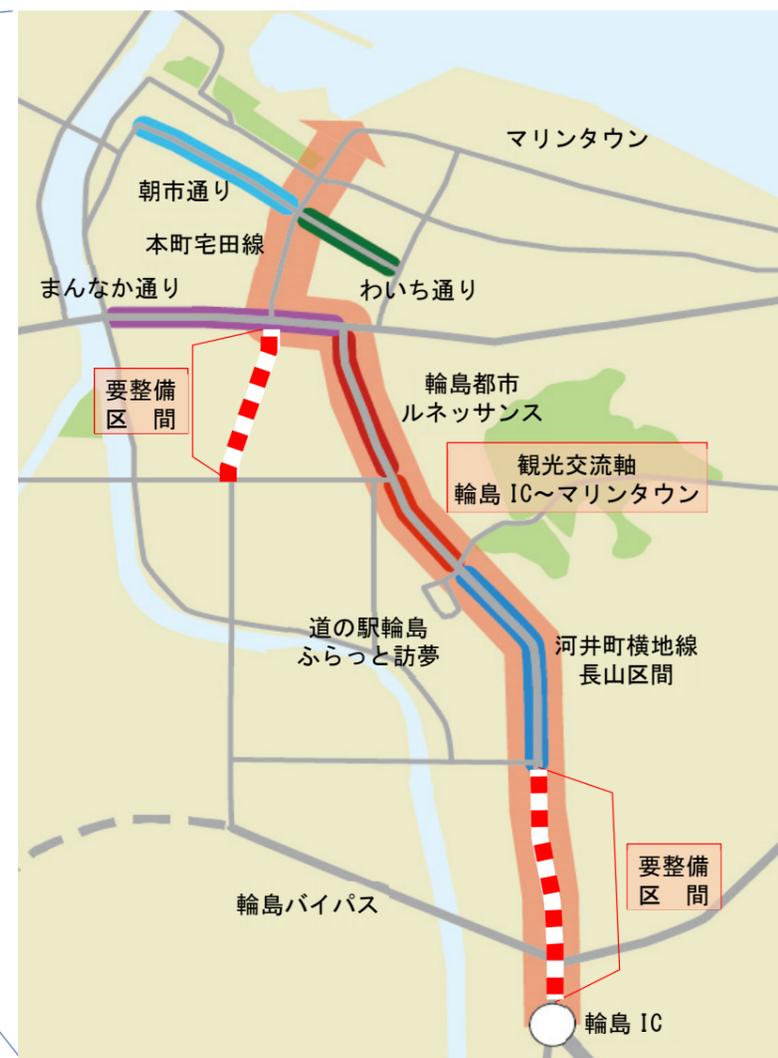
東広島市に移住しプログラミングスクールを営む移住創業の事例

現況

- 能越自動車道・輪島道路（のと里山空港 IC～三井 IC）が 2022 年夏まで開通、輪島 IC は 2030 年前後の開通が想定される。
 - 中心市街地においては、都市ルネッサンス（駅前～馬場崎）、本町、わいち、上町、観音町、まんなか通りの街路整備を進め、歴史を活かした魅力ある街並み空間を創出。
 - 広域的な物流や中心部の通過交通対策として、国道 249 号輪島バイパスの整備を進めている。
- ※のと里山海道に関しては 4 車線化の整備を進めており、金沢～輪島間の時間短縮、アクセス快適性が強化される。
- ※能越自動車道の七尾区間の整備が進められており、富山・岐阜とのアクセス性が高まる。

プロジェクトの内容

- まちなかの観光交流軸の整備 輪島 IC→都市ルネッサンス区間→輪島朝市→マリンタウンに至る観光交流軸を強化するため、河井町横地線（七尾輪島線）の輪島 IC までの整備、本町宅田線（河井小学校前交差点～輪島高校西交差点）等の整備を進める。
- サイクリングルートの整備 風景のよい幹線ルートにおいて自転車走行環境の向上を図る。
- 輪島バイパスの整備 物流・産業などの通過交通を中心部に入れないとともに、観光客の千枚田方面、門前方面へのアクセス強化のため輪島バイパスの整備を進める。
- 輪島広域農道の整備促進 農業振興及び災害時や能越自動車道の維持管理期間の代替ルートとして、輪島広域農道（未整備区間：三井～市ノ瀬）の整備を促進する。
- 能越自動車道、のと里山海道の整備促進 4 車線化工事、道路機能の向上等の働きかけを進める。



輪島都市ルネッサンス



本町宅田線（河井小学校前交差点～マリンタウン）



まんなか通り 漆ロード

現況

- のと里山空港はH15.7月に羽田便1日2往復で開港。首都圏からの旅行者増加、台湾等からのチャーター便の就航による国際観光推進の効果が生まれている。開港16年目（2018.7.7～2019.7.6）の能登／羽田の利用状況は約17万人、搭乗率は71%であり2013年以降堅調に増加している。（現在の使用機は166席）
- 地方空港の活性化において、全国的なインバウンド（外国人旅行者）需要の増加が追い風である。国の観光ビジョンでは、2018年に約3100万人であった訪日外国人旅行者数を2030年に6000万人とする目標が掲げられており、大きな経済効果が期待される。
- のと里山空港においても、外国人の地方滞在に対応し関西方面の定期便の就航、チャーター便の受入拡大を柱に、活性化を図ることが重要である。

プロジェクトの内容

- 関西方面の定期便の実現 2018年に設立されたジェイ・キャスが2021年の能登空港＝関西国際空港便の開港を計画しており、実現化のためには輪島市民が誘致に向けた行動を起こしていく必要がある。
- 国際チャーター便の誘致促進 近年、国際チャーター便は年間15便前後の利用であり、約4000人がアジア圏から訪れている。外国人旅行者のローカル to ローカル移動（大都市を經由しない旅程）が増えると考えられており、チャーター便の拡大により交流の活性化を図る。
- 防災拠点空港の整備促進 居住地との距離があることから騒音の影響が少ないとともに用地確保の面から拡張性が高いことを活かし防災拠点空港としての整備可能性を探る。
- 空港の個人利用の促進 空港の多機能化の一環として、個人が所有する飛行機やヘリコプターを駐機させておく拠点としての可能性を検討する。

伊丹空港（大阪国際空港）
 就航地：約30の国内空港との定期便（国際便は無い）
 年間利用者数：約1500万人
 アクセス：大阪駅・梅田から約35分
 （鉄道・モノレール）
 ・大阪、京都、神戸へのアクセス性がよく、ビジネス・観光ニーズに対応している。
 ・騒音問題のため発着枠は1日370回に設定されており、新しい乗り入れが難しい点が課題。

関西国際空港
 就航地：国際便は約20ヶ国、70都市
 年間利用者数：約3000万人
 （国際線2300万人、国内線700万人）
 アクセス：大阪駅・梅田から約50～60分
 ・のと里山空港便：Jcas（ジェイ・キャス）により2021年秋より1日1往復の就航が計画されている。
 →概要：小型プロペラ機を使用（76人または86人乗り）
 午前：富山ー関西2往復
 正午前後：能登ー関西1往復、
 午後：富山ー関西2往復

- 拠点空港
- 会社管理空港
- 国管理空港
- 特定地方管理空港
- 地方管理空港
- 共用空港



羽田空港（東京国際空港）
 就航地：約50の国際線、約50の国内線
 年間利用者数：約8500万人
 国際線1800万人
 国内線6700万人
 アクセス：東京駅から約40分
 （鉄道・モノレール）

写真出典

頁	写真内容	出 所	他掲載頁
1	輪島塗の器	輪島漆器商工業協同組合(WEB サイト)	P6
	大学授業	金沢大学 理工学域 能登海洋水産センター(WEB サイト)	P3
	オンライン会議	スケッチラボ(WEB サイト)	P8
	海岸オープンカフェ	淡路島観光ガイド・あわじナビ(WEB サイト)	P2, 4, 10
2	料理	雪国A級グルメ(WEB サイト)	
	泳げる水族館	PIC グアム(WEB サイト)	P6
	沢登り	海風の国観光圏観光情報サイト(WEB サイト)	
	漆工房	輪島市公式観光サイト輪島ナビ(WEB サイト)	
3	自動運転トラクター	農林水産省スマート農業(WEB サイト)	P7
	農業ドローン	農林水産省スマート農業(WEB サイト)	P7
	農業実習	石川県立大学付属農場(WEB サイト)	
4	クルーズ船	国土交通省東北地方整備局秋田港湾事務所(WEB サイト)	P8
	洋上風力発電	経済産業省資源エネルギー庁(WEB サイト)	P10
5	雪国A級グルメ認定店	雪国A級グルメ(WEB サイト)	
	歩行者利便増進道路	国土交通省(WEB サイト)	
6	鴨ヶ浦塩水プール	輪島市公式観光サイト輪島ナビ(WEB サイト)	
	工房巡り	輪島市公式観光サイト輪島ナビ(WEB サイト)	
	志摩市海女小屋	海女小屋体験施設さとうみ庵(WEB サイト)	
	活べした魚	石川県漁業協同組合 (Facebook)	
7	能登学舎	金沢大学マイスター(WEB サイト)	
	能登海洋水産センター	金沢大学 理工学域 能登海洋水産センター(WEB サイト)	
	大学授業	石川県立大学(WEB サイト)	
	三井茅葺	輪島市公式観光サイト輪島ナビ(WEB サイト)	
	林業	能登森林組合(WEB サイト)	
	いさざ漁	輪島市公式観光サイト輪島ナビ(WEB サイト)	
8	AI オンデマンドタクシー	アイランドシティ魅力紹介(WEB サイト)	
	百歳体操	輪島市地域包括支援センター(WEB サイト)	
	コワーキングスペース	スケッチラボ(WEB サイト)	
	移住創業	ひがしひろしま移住支援サイト(WEB サイト)	
9	能越自動車道	輪島道路パンフレット	
10	へぐら航路	へぐら航路株式会社(WEB サイト)	
	洋上風力発電組立工場	経済産業省 (資料)	
	七尾海上保安部巡視艇	七尾海上保安部(WEB サイト)	
	大型漁船基地	坂本賢治ブログ	